

可愛・郷野地区 第5回総務部会・(第4回小学校統合準備委員会) 要点筆記

開催日時：平成 26 年 12 月 19 日（金）午後 7 時 00 分～8 時 20 分

開催場所：安芸高田市クリスタルアージュ 402 研修室

| | |
|--------------|--|
| 参加状況 | <p>■専門部会員（敬称略）</p> <p>◎井上 正樹 可愛小学校区内の振興会代表（専門部会長）</p> <p>○橋詰 建 郷野小学校区内の振興会代表（副部会長）</p> <p>幸川 理 可愛小学校保護者会の代表</p> <p>船津 義隆 可愛小学校保護者会の代表</p> <p>森上 なづ 郷野小学校保護者会の代表</p> <p>松井 智子 郷野小学校保護者会の代表</p> <p>坂田 操 可愛保育園保護者会の代表</p> <p>大田 智香子 入江保育園保護者会の代表</p> <p>飯田 直美 可愛小学校の校長</p> <p>津田 泰成 郷野小学校の校長</p> <p>石本 悟 吉田中学校の教頭</p> <p>■統合準備委員（敬称略）</p> <p>平田 武幸 郷野小学校区内の振興会代表</p> <p>友繁 孝実 吉田中学校長</p> <p>■安芸高田市</p> <p>叶丸 一雅 安芸高田市教育委員会教育次長</p> <p>土井 実貴男 安芸高田市教育委員会教育総務課長</p> <p>柳川 知昭 安芸高田市教育委員会教育総務課学校施設係長</p> <p>倉田 英治 安芸高田市教育委員会教育総務課学校施設係専門員</p> |
| 傍聴者 | 3 人 |
| 会議次第 及び資料 | 別添のとおり |
| 会議内容 | <p><input type="checkbox"/>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要望事項が付記された 2 件の協議項目について、市の見解が報告された。 ・新たな協議項目として、「閉校となる学校の跡地活用について」、「学校プールについて」、「統合目標年月日について」の三件が事務局から提案され、質疑応答を行った。 <p><input type="checkbox"/>要望事項に対する市の見解について</p> <p>（1）学級編制について</p> <p>■現在、安芸高田市では多人数学級へ配置する学習補助員の制度があり、配慮を要する学級へ非常勤の職員を配置している。当面はこの制度の活用により担任の補助など教育体制の充実を図っていきたいと考えている。</p> |

(2) 放課後児童クラブについて

■放課後児童クラブについては、「1学校1児童クラブを原則」と考えている。ただし、閉校予定校区において存続の希望があり、かつ通所希望児童数が基本人数に達している場合には、当面存続し運営するものとする。

質疑

- ・児童クラブの通所希望児童数の基本人数は何人か。

事務局から

- ・児童クラブには国からの補助があり、10人以上がその対象となっている。

□協議事項

①閉校となる学校の跡地活用について

提案内容：グラウンド、体育館については社会体育・地域振興・災害対策・避難場所として活用が見込まれるものは当面維持する。校舎活用については、解体撤去する。

意見・質疑等

- ・郷野小学校の体育館にはトイレがなく、専用のトイレの設置が必要であると思う。
- ・郷野振興会としては、跡地を具体的にどうするかということまでは話は進んでいない。今日の提案を受けて、さっそく年内か年始に、役員会から地元全体にも下ろして行きたい。避難場所にも指定されており、いずれ解体するか、または残すかということを決めていきたい。解体する場合には、具体的な話をできるだけ早い機会に進めていきたい。地元全体に下ろすとなれば時間が掛るかもしれないが、跡地活用は一番大きな問題であり、効果的なものを検討していきたい。
- ・最終的に跡地の管理委託を受けるのは振興会しかないと思う。可愛集会所2箇所も振興会が管理委託を受けているので、当然そういう形で跡地管理は委託を受けて管理していくものと考えている。

事務局から

- ・総務部会、準備委員会で地域全体の要望としてまとめていただければ、推進本部に報告して、市長の判断を仰いだ後に回答する。

②学校プールについて

提案内容：将来の学校プールの配置としては、B&G・学校プールも含め一町一プールで考えている。ただし、統合に合わせて、すぐに学校プールを廃止するものではない。修繕費用などの維持管理経費を見ながら廃止時期を検討する。

意見・質疑等

- ・郷野のプールの水が漏水によりなくなるとのことだが、今後どうされるのか。
- ・閉校後の管理については教育委員会が所管になるのか。郷野の子どもたちは、どうやって可愛小のプールに入りに行くのかということもある。移動方法などはどう考えているのか。

・子ども達に水に親しむ環境を残してやる必要があると思う。学校統合するからプールは将来的にはひとつになるということになると、水に親しむ機会が遠のいていくということになる。行きたくても交通手段がないから行けないというようなことになる。いちばんいいのは可愛にも郷野にもプールが残って行きたいプールに行ける状態である。広島市は各区にスポーツセンターがあり、プールもある。また学校プールも利用できるのも、水に親しむ環境がより身近にあると言える。子ども達が水に親しむ環境を一番に考え、検討して頂きたい。

部会長から

・この件については、振興会の受け方をどうするのかということも含めて、たちまちは予算付けして郷野小プールは修繕して使える状態になるので、学校があるまでは学校プールとして使い、学校がなくなると地域の社会体育プールとなってどうするのか、これはまだ決定ではないので、それまでの検討課題でないかなと思う。振興会においても、学校がなくなった際のプール管理について検討してもらえたらと思う。

事務局から

・来年度予算に、郷野小プールの修繕費用を予算要求している。閉校後は社会体育の管轄になり、教育委員会の所管になる。今後については、他市の例やこれまで美土里小が統合した時の例を参考にして協議していきたい。

③統合目標年月日について

提案内容：統合目標年月日は、平成28年4月1日とする。

意見・質疑等

・保護者から平成28年4月の統合を見送りたいという意見が出た場合は、どういうふうにするか。文書で提出した方がいいのか。

・賛成の方も反対の方も、時期が早すぎるという意見が出ている。

・計画通り平成28年4月1日に統合したいための準備委員会であり、それをめざして現在も準備をしている。重要項目については、重点的に既に提案していただいていると思う。

・郷野地区振興会としては、跡地問題について今から検討に入る。校舎を解体する場合、残す場合を考え、現在、地域コミュニティとして使われていることを含めて方向を決めたい。

統合時期の決定については、校舎の跡地利用について、いろんな意見を吸い上げて、解決する見通しをもった決定ならよいが、そういうことなしの見切り発車は、難しいと思う。

・振興会の関係者の思いについては、次回の委員会で報告したいと思うが、郷野地域の意見を一カ月でまとめるのは難しいと考えている。

・跡地活用の問題については、統合目標時期を決めた後に、しっかり時間を掛けて議論してもよ

いのではないかと思う。おそらく教育委員会だけではまとめられないと思う。基本的には跡地活用の課題は郷野振興会でよく協議していただければと思う。

事務局から

・保護者の協議の中で、統合目標を平成28年4月1日とすることは、まだ確認したいことがたくさんあるし、時間的に1月末に返答するのは難しいということであれば、そのことを準備委員会の場で発表されて、1月に開く準備委員会で確認をしてもらえばと思う。

可愛・郷野地区について、そういった意見があるということで、推進本部の方へ返していく。

部会長のまとめ

・それぞれ持ち帰っていただいて、今日の意見を踏まえながらまとめていきたい。

連絡事項

次回は、平成27年1月28日（水）に開催する。

可愛・郷野地区第5回総務部会（第4回小学校統合準備委員会）次第

日時 平成26年12月19日（金） 19時00分～
場所 クリスタルアージュ 4階 402会議室

1. 開 会

2. 諸般の報告

- (1) 前回の確認事項について

3. 協議事項

- (1) 閉校となる学校の跡地活用について
- (2) 学校プールについて
- (3) 統合目標年月日について
- (4) その他

4. 事務連絡

- ・次回開催予定 平成 年 月 日（ ）

5. 閉 会

協議項目 第 37 号

閉校となる学校の跡地活用について

平成26年12月19日 提出

| | |
|------|---|
| 協議項目 | 閉校となる学校の跡地活用について |
| 提案内容 | (郷野小学校) ・グラウンド、体育館については社会体育・地域振興・災害対策・避難場所として、活用が見込まれるものは当面維持する。 ・校舎については、解体撤去する。 |
| 協議結果 | |
| 確認日 | 平成 年 月 日 第 回 専門部会で確認 |

協議項目 第 14 号 学校プールについて

平成26年12月19日 提出

| | |
|------|---|
| 協議項目 | 学校プールについて |
| 提案内容 | <p>将来の学校プールの配置としては、B&G・学校プールを含め1町1プールで考えている。 ただし、統合に合わせて、すぐに学校プールを廃止するものではない。修繕費用などの維持管理経費を見ながら、廃止時期を検討する。</p> |
| 協議結果 | |
| 確認日 | 平成 年 月 日 第 回 専門部会で確認 |

協議項目 第 1 号

統合目標年月日について

平成26年12月19日 提出

| | |
|------|------------------------|
| 協議項目 | 統合目標年月日について |
| 提案内容 | 統合目標年月日は、平成28年4月1日とする。 |
| 協議結果 | |
| 確認日 | 平成 年 月 日 第 回 専門部会で確認 |